

2014年 (平成26年)

10月29日

水曜日

日刊 産業

非鉄商況

鉛スクラップ1円上昇

東 京
鉛スクラップはキロ1円上昇。10月積み鉛建値が27日、ト
ン70000円高

の27万7000円に改定されたことを映した。上鉛135-145円、電池巣鉛115-125円、活字鉛130-140円あたりが値ごろになった。鉛管、鉛板を指す上鉛は発生難。「昨年と同時期より発生が少ない」(関東の間屋)との声が聞かれる。上鉛を原料とする再生1号鉛の需要も黄銅棒メーカー

以外の引き合いは低調だが、発生難の方が深刻。需給はややタイト感が生まれてきてお

大 阪
鉛スクラップは反発。市中相場は上鉛活字鉛ともにキロ28-33円どころ。海外指標のロンドン金属取引所(LME)の鉛相場は先週の急落を経て、トン2000前後でもちあう展開に。現地27日の現物前場売値は先週末比24ポ安の1987ポ。国内建値は円反落も手伝って、27日付で7000円上げ戻して27万7000円に改定され、スクラップ相場もキロ4円前後上昇した。加工後の再生鉛の引き合

もキロ4円前後上昇した。加工後の再生鉛の引き合も、ウエイト用や合金漆の民生需要のシフトも定着し、一時流動化していた商流も落ち着きを見せている。

鉛スクラップ反発

内建値は円反落も手伝って、27日付で7000円上げ戻して27万7000円に改定され、スクラップ相場もキロ4円前後上昇した。加工後の再生鉛の引き合も、ウエイト用や合金漆の民生需要のシフトも定着し、一時流動化していた商流も落ち着きを見せている。

アルミニスクラップ様子見

東 京
アルミニスクラップは様子見。二次合金メーカーの購入平均価格は、缶プレス(A)がキロ175-180円、LMEアルミ相場は、セツルメント(前

から問屋とメーカーで11月前半交渉が始ま

外部市況の改善で、弱気ムードは後退しつつある。新塊高と円安に修正が入った10月後半のスクラップは2-5円下げ。当初は「スクラップが少ないのに価格が下がる、悪い流れに傾くのでは」(原料問屋)とみられていた。

の音が聞かれる。廃バッテリーも発生筋の引き合いは先月より強い「関東の輸出筋」との声が聞かれ、需給は非常に引き締まっている。価格が高騰しており、国内の二次精錬メーカーからは「韓国筋はどこで利幅を取っているのか」といぶかしむ声が聞かれる。

外部市況の改善で、弱気ムードは後退しつつある。新塊高と円安に修正が入った10月後半のスクラップは2-5円下げ。当初は「スクラップが少ないのに価格が下がる、悪い流れに傾くのでは」(原料問屋)とみられていた。